

# 次代へ向けた産業創造

## 真空技術の技術者養成



三池 秀敏氏

アジアの成長は著しいものがある。山口県に拠点を持つメットは、どの点でも中国や韓国に近い。短時間で中国や韓国に物流の優位性がある。また大都市に比べ人材を確保しやすく、定着率も高い。宇部港など一定のインフラ整備がされており、知的クラスターへの取り組みも積極的だ。課題としては素材に特化しているため、自動車産業のような広がりがない。また加工型産業の企業が育っていない。海外との交流も盛んでないような気がする。

山口県は日本の製造業の縮図と言われている。世界でトップクラスの素材産業が集積しているため、以前は素材メーカーは国内の会社に部品を供給していたが、今や供給先は全世界。一つの例として太陽電池のシリコンがある。シリコン工場があるおかげで、新たな企業が立地してくる。インドまで含めた山口の地の利を生かすかを考えると必要がある。山口県は3月を境にシリコンを産出する工場が立ち上がり、技術の地産地消をやりたがっている。それと並行して、農工商連携など2次産業、3次産業も入って、そして大学にも参加してもらった。次はそれらに全国に広げていかないと国に置いていかれる。ここは国のさまざまな施策を

活用していきたい。三池 山口大は県内から来る学生が3分の1、九州からが3分の1、残りが広島県と東と西ということになる。広域で頑張っている大学といえる。だが留学生も増えている。それが博士課程の学生が少なくなっていることだ。九州大学や東京大学は奨学金まで支給している。本学は金を出さず余給がない。留学生を博士課程の学生確保につなげていきたい。インドネシアに研究拠点を設置したほか、授業の英語化も進めている。技術の地産地消という話が出たが、私自身本学のシーズというものを十分に知らない。研究推進体というものを50個くらいつくったが、数が多すぎた。2期では13のグループすべてをヒアリングして過程を把握している。

## 日本は産業戦略が必要



杉下 秀幸氏

岡本 同感だ。最先端の半導体や液晶の製造装置は韓国や台湾へ出荷されている。地の利としては非常に有利。人材もたくさん来てくれるし、インフラも言うことない。福岡市、釜山、山間には高速船が就航し、山口県下関市と釜山市にはフェリーが運航している。フ

国や県などの行政に対し、要望があればどうかという。岡本 日本はガラパゴス化している。これは良いことではない。失われた20年といわれる。日本が人員を縮小する一方で、隣国の韓国は半導体やIT分野の人材を引き抜いた。日本の50歳くらいの技術者が半導体を教える、最先端の半導体製造装置も導入した。また韓国は国を挙げて応援した。これに乗じて液晶や太陽光発電、

有機エレクトロニクス(ELE)にも手を広げよう。日本の技術はすべて韓国へ流出する。そうすると日本の技術がさびれていく。このままではいけない。企業を取り巻く環境は、

大変厳しくなっている。日本は国家の戦略がないとつくづく感じてしまう。自由貿易協定(FTA)が締結できないようであれば韓国には勝てない。行政の問題もある。縦割りの法律に個別対応しななければならない。プラントの建設コストが高くなる。日本のプラントの建設価格は海外の1.5倍だ。ほかにもメンテナンステータス費用、人件費など割合高ければ海外に出で行こうという話になる。税制も日本の法人税率は40%だが、EU諸国は30%、中国や韓国は25%だ。森の20年くらい産業施策のビジョンがない。これが産業空洞化の一番の要因だと思っ。国は国、県は県、市は市にそれぞれの役割があり、これをしっかりとやっていくことが大事だと思っ。そうしなければ地利を生かすこともできない。山口県は化学工業の出荷額が全国第四位とトップクラス。ここからいろんなものが生まれている。トクヤマや東ソー、宇部興産などからいろんな製品が出荷される。こういうものを一つのコアに、本県ならではのものを何か打ち出した。山口に地域に立地していることが我々の使命。一つひとつしっかりと対応していきたい。



日本の産業戦略に対し、多くの意見が出された。



岡本 要氏

岡本 日本はガラパゴス化している。これは良いことではない。失われた20年といわれる。日本が人員を縮小する一方で、隣国の韓国は半導体やIT分野の人材を引き抜いた。日本の50歳くらいの技術者が半導体を教える、最先端の半導体製造装置も導入した。また韓国は国を挙げて応援した。これに乗じて液晶や太陽光発電、

## 技術と人材の流出防げ

**TOPPAN**  
凸版印刷株式会社  
http://www.toppan.co.jp/  
高機能事業部  
〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1  
山口営業所  
〒745-0034 山口県周防市御幸通2-18 徳山朝日生命ビル7F

人と人をつなぐ、  
あなたのベストパートナーでありたい。  
**IK** 稲畑産業株式会社  
www.inabata.co.jp

パッケージング・ソリューション・カンパニー  
**イワタポルト**  
★ISO14001・ISO9001認証取得  
★国内27、海外16の営業拠点と国内外4工場のグローバルネットワーク  
TEL 03 (3493) 0211 (代表) http://www.iwataport.co.jp/

機器用ワイヤーハーネス、太陽光発電配線ユニットの国内トップメーカー  
**オーナンバ株式会社**  
代表取締役社長 小山 正孝  
本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北3-1-2  
TEL 06 (6976) 6101 FAX 06 (6976) 6100  
http://www.onamba.co.jp

社会からの期待・信頼に  
太陽光発電で応える。  
150kw太陽光発電システム稼働中

良きパートナーとして  
フロンティアに挑戦!  
下関鍍金株式会社  
取締役社長 岩佐 裕児  
〒752-0953 山口県下関市長府港町7-13  
TEL.083-245-0171 代 FAX.083-245-5069  
E-mail : smk@bronze.ocn.ne.jp

JST地域産学官共同研究拠点整備事業  
やまぐちイノベーション創出推進拠点  
**2011年4月 始動**  
山口大学産学公連携・イノベーション推進機構  
【開放機器問い合わせ窓口】  
電話:0836-85-9961 FAX:0836-85-9962 e-mail:yuc@yamaguchi-u.ac.jp  
住 所:〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

住宅・公共・産業用太陽光発電メーカー  
**CLC 長州産業株式会社**  
本社工場/〒757-8511 山口県山陽小野田市新山野井3740  
TEL 0836-71-1033 http://www.choshu.co.jp

太陽光発電パネル一貫生産体制確立  
平成22年12月竣工 太陽光セル生産工場

ゴルフ場 100kw太陽光発電システム稼働中  
セントラルパークゴルフ倶楽部 (運営母体:長州産業)  
山口県美祿市豊田町保々長尾335 TEL0837-58-0808

省資源・省エネルギーグリーン部材の世界最先端拠点を旨して  
**「やまぐちグリーン部材クラスター」**  
やまぐちグリーン部材クラスター  
(地独)山口県産業技術センターを中核機関とし、山口大学、山口東京理科大学、水産大学校などと産学公連携による「文部科学省地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型)」で、平成21年9月1日より次の研究開発を実施しています。  
【高効率なLED用部材・LED応用製品、太陽電池用シリコンの減量・再生、ナノ粒子応用グリーン部材などの研究開発】  
準会員の募集  
「やまぐちグリーン部材クラスター」では、本事業にご参加いただける準会員を募集しています。準会員は、次の特典が得られます。  
【本クラスター分野に関する各種助成金等の支援、交流会・セミナー等の参加、クラスターセンターニュース等の受信など】  
詳しくはホームページをご参照ください。  
http://www.iti-yamaguchi.or.jp/greenvalley/  
地方独立行政法人山口県産業技術センター内「やまぐちグリーン部材クラスターセンター」  
〒755-0195 山口県宇部市あすとびあ4丁目1番1号 Tel 0836-53-5061 Fax0836-53-5072 E-mail: ygc@iti-yamaguchi.or.jp